

4 グローバル人材の育成を見据えた国際交流事業  
ウ 国内での国際交流事業(イングリッシュキャンプ等)



令和5年度 国際交流事業(諫早市教育委員会委託事業)  
English Day Camp ~Let's enjoy English! ~

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家  
〔期日〕 令和5年9月30日(土)  
〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家  
〔参加者〕 諫早市内の小学3・4年生 児童59名(男子21名、女子38名)  
〔担当職員〕 中里 文彦、貞方 貴衣  
〔外部講師等〕 諫早市教育委員会学校教育課職員(6名) 諫早市教育委員会ALT(10名)  
鎮西学院大学学生サポーター(8名)

1) 事業の趣旨

自然の中で英語を聞いたり話したり人に伝える活動や外国人との交流を通して、英語でのコミュニケーションを図ることの楽しさを感じるにより、コミュニケーションを図る素地となる資質を育てる。

2) SDGs で目指す姿

 <p>4 質の高い教育を みんなに</p>	 <p>16 平和と公正を すべての人に</p>	目標4 質の高い教育をみんなに 自然体験活動や外国人との交流を通して英語を楽しく学びます。 目標16 平和と公正をすべての人に 外国人や同世代の人たちと英語で交流することでお互いの理解を深めます。
---	---	---

3) 目標

- ①英語をたくさん使って、英語でのコミュニケーションの楽しさを感じる。
- ②キーワード(色・形・数字・果物・野菜)を積極的に使おうとする。

4) 研修プログラム

9月30日(土)	
9:00	自然の家到着・受付
9:15	「Let's start!(始めよう)」【写真①】
9:25	「Let's be friends!(友だちになろう)」【写真②】【写真③】
10:30	「Let's enjoy forest bingo game!(森のビンゴゲームをしよう)」【写真④】
12:00	昼食(レストラン)
13:00	「Let's play games!(ゲームをしよう)」【写真⑤】
14:30	「Let's review today's activities!(今日の活動を振り返ろう)」【写真⑥】
15:00	自然の家出発

## 5) 事業展開

### ①「Let's start! (始めよう)」



初めに、みんなで楽しくアイスブレイクをして、心もほぐれ、準備を整えました。ALT→ボランティア→自然の家職員→市役所職員の順に自己紹介をして、一緒に活動するメンバーを確認することができました。

### ③「Let's be friends! (友達になろう)」



10種類の“色・形・数字・果物・野菜”についてフルーツバスケットをしながら英単語を学びました。グループ毎に10種類の単語を繰り返しみんなで発声することで、単語を覚え、楽しみながら取り組むことができました。

### ⑤「Let's play games! (ゲームをしよう)」



フォアコーナーズでは、プレイホールの四つ角に提示された4種類のカードの中から1つ選び、ALTと同じカードを選んだ人は抜けていくシンプルなゲームでしたが、みんな楽しそうな様子が見られ一番盛り上がっていました。

### ②「Let's be friends! (友達になろう)」



英語でじゃんけんをして、負けた人が勝った人について、じゃんけんを続けるうちに、長い列車が出来上がり、初めて出会った児童同士で楽しくコミュニケーションを取ることができました。

### ④「Let's enjoy forest bingo game! (森のビンゴゲームを楽しもう)」



各マスにアルファベットが書かれたビンゴ用紙の上に、各単語の頭文字のアルファベットのつく物をたくさん集めて、みんなで単語を覚えました。見つけた形についてALTに英語のスペルや発音を質問する姿が多く見られました。

### ⑥「Let's review today's activities!」



#### (今日の活動を振り返ろう)

最後は、みんなで振り返りをしたり、アンケートを記入したりしました。参加者のほとんどがイングリッシュキャンプに参加して「とても楽しかった」「楽しかった」と笑顔で回答してくれました。

## 6) 評価

### ① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

満足	やや満足	やや不満	不満
95%	3%	2%	0%

### ② 参加者の声

- ・他の学校の人と仲良くなって友達になれたので、よかった。
- ・形や色、数、果物、野菜の英語を覚えることができてよかった。
- ・森のビンゴゲームでは、みんなで頭文字がつく英単語を見つけることが楽しかった。
- ・ゲームをしながら、単語を覚えることができたので楽しかった。
- ・英語を話そうとチャレンジできたのでよかった。これからも英語を勉強したい。
- ・ALTの先生や大学生とたくさん英語でお話のできたので、よかった
- ・英語で友だちとたくさん話して、友だちをたくさん作ることができた。
- ・最初は緊張したけど、最後は楽しかった。英語を楽しく学べることを知った。

## 7) 成果と課題

### ① 成果

- ・4月末に諫早市教育委員会の担当者と顔合わせをして、当日までのスケジュールを確認しながら余裕をもって準備をすることができた。また、打ち合わせの段階からALTにも参加してもらったことで、ALTとも活動内容の共有をすることができたので、自然の家での下見や準備物なども早めに準備し、スムーズに運営することができた。
- ・参加者への説明をALTが英語で行ったり、日本語やジェスチャーで補足説明をしたりすることで、参加者も取り組みやすく、正しい英語を学びながら活動することができた。
- ・学校が異なり、始めて出会った参加者同士でもお互いに英語でコミュニケーションを取り合うことができ、最後まで楽しく活動する姿が印象的だった。
- ・“色・形・数字・果物・野菜”の単語をゲームに取り入れて、みんなで繰り返し発音しながら取り組むと、子ども達も英単語を覚えやすかったようだ。

### ② 課題

- ・開始前の打合せや自己紹介などに予定より時間がかかったので、それに伴ってその後のゲーム紹介の時間が短くなった。
- ・プレイホールで活動するとき、室内シューズがあればもっと動きやすかった。
- ・募集定員に対して、応募の数が多かった（60名募集のところに152名の応募があった）  
→次年度は、対象学年を4年生限定とし、60人募集定員で実施予定。